

# 「自らを見つめ、自分の成長に喜びを感じる児童の育成」 ～生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくりからのアプローチ～

佐賀県伊万里市立山代東小学校

## 1 研究のねらい

児童に、自身の歯や口の健康状態やその健康づくりのための生活習慣などの現状を認識させ、改善や向上へ向けた取組を展開する。その中で自分の成長に気づく喜びや成就感、達成感を味わわせることを契機に、生活、学習両面において、自らを見つめ、自分の成長に喜びを感じる児童を育成する。

## 2 主な取組

### 【研究開発部】

#### 養護教諭・栄養教諭・歯科衛生士とのT. Tによる授業

児童の実態および各学年の発達段階に応じた全体指導計画を立て、それに基づいた授業実践を行った。その際、担任だけでなく専門的な立場の協力を得たことで、知識や実践的な技能の習得はもとより、学習意欲の向上や日常化につなげることができた。



#### ICTの利活用

パソコン、プロジェクター、電子黒板、位相差顕微鏡等の機器を効果的に活用した資料提示を行ったことで、問題点や解決方法を視覚的にとらえさせることができた。



### 【環境開発部】

#### 環境整備

##### ① 掲示物の作成

「自分の口の中をのぞいて見たいくなるような掲示物」を目指し、歯の観察、歯肉の観察、むし歯の進行、歯の形と働きの4テーマのもと、「見る」「読む」だけでなく、「触れ」「体感し」「自分と比較できる」体験的要素を取り入れた掲示物を作成したことで、知識や技能の獲得に加え、学習のレディネス形成や日常化につなげることができた。



きれいになったかな？

##### ② 鏡の活用

全校児童に個人用の手鏡を配布し、歯みがきの際に自分の口の中を見ながら歯みがきをさせた。

また、授業で歯鏡を使わせたり、手洗い場に新たに鏡を設置したりしたことで、ていねいなブラッシング法を身に付けさせることができた。

#### 生活アンケートの実施

日本学校歯科医師会作成のアンケートを参考に、児童は全学年、保護者については同じ保護者を対象に2年間にわたり実施し、その結果を各学級での取組や授業の導入などに活用することができた。

また、考察を加え家庭に配布したことで、保護者意識の高揚や家庭での取組の充実を図ることができた。

#### 家庭・地域および関係機関との連携



日頃の歯みがきについて親子で確認し、適切なブラッシング法を身に付けさせることを目的に、日曜参観を利用して「親子歯みがき教室」を実施し、全学級で歯科衛生士による指導をしていただいた。専門職による指導は、技術面はもとより、その存在による雰囲気づくりの面でも大きな効果があり、児童、保護者双方の意識の啓発も図ることができた。

よく見せてみて。



#### 集会活動

児童集会等、児童自身による発表を行うことで、歯・口の健康に関する知識の獲得や意識の高揚を図ることができた。

#### 日常の指導

「生活振り返りカード（ちゃんとカード）」への記入を徹底させ、保護者との連携を図りながら、学校での指導や家庭での声かけなどを粘り強く行ったことで、生活態度を客観的に振り返り、より厳しい目で自己評価をする児童の姿が見られるようになった。



人間の歯が「動物の歯ナンバーワンです。」